

## 第6回桑名市総合計画審議会 会議概要

日時・場所	平成26年5月12日(月) 13:30~15:30 桑名市役所本庁舎 5階中会議室
出席者	委員: 15名 市: 2名 事務局: 5名
会議次第	1 副市長あいさつ 2 事項 (1) 基本理念(イメージ)について (2) 部門別計画(単位施策)について 3 その他
概要 (主な意見)	<p>2 事項</p> <p>(1) 基本理念(イメージ)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本物というのが分かりにくいので、ブランドという表現ではどうか。</li> <li>・本物と偽物という対比ではなく「自らのまちに誇りを持つ」ことへの拠り所を指しているのだと思う。</li> <li>・多くの市民が共通で認識できるまちづくりの方向性を表す言葉選びが大切である。</li> <li>・ひとつの言葉で一つのイメージを表すことは難しいので、普及させる時に、言葉の定義を注釈で表現することが必要である。</li> <li>・社会が多様化しており、価値のあるものだけを本物と捉えると残念である。</li> <li>・イメージ図の木の幹の下に根っこがあるといいと思う。根っこは歴史、文化などを表し、私たちのまちの根底のイメージが湧きやすくなると思う。</li> </ul> <p>(2) 部門別計画(単位施策)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に整理されたと思うので、総合計画として内容に漏れのないようにしてほしい。</li> <li>・指標を矢印で表記することは市民向けのアプローチとしては良いと思う。</li> <li>・指標を矢印で表記することは、読む人によって解釈が違うかもしれない。</li> <li>・専門用語については、なるべく分かりやすい表記を希望する。</li> <li>・「10年後の目指す姿」について、具体的な内容の記載を希望する。『消防・救急』であれば、『消防団員の処遇改善』については「いつまでに(〇年までに)どうしたいか」を明記してもらいたい。</li> <li>・指標の見せ方について、絵(イラスト)にすることもひとつの案である。</li> <li>・矢印については段階的な向上を目指すのであれば階段型ではどうかと思う。</li> <li>・矢印は、成果(結果)をイメージしてしまう。ゴミの量を減らすことを指標として数値化せず\で表現するのは指標を表す意味があまりないと思う。</li> <li>・『10年後の目指す姿』については、もっと簡潔に表現すると良いと思う。</li> <li>・『市民が努めます』の内容に関して踏み込んだ表記は相応しくないと思う。</li> <li>・絵を取り入れることはイメージが湧きやすく評価できる。</li> <li>・指標に数値を取り入れると、財政状況などの他の要因によって目標達成が困難になるケースもあるため、数値を入れないのも一つの選択肢と言える。</li> <li>・市の計画の核となるのは「地域包括ケアシステム」であると考えている。</li> <li>・これからの時代に“地域力”は重要であると考えているため「地域包括ケアシステム」という文言を他の部門にも入れたらどうかと思う。</li> <li>・各単位施策については各論を論じ、横串を刺すようなイメージで全体に通じる施策を決めるという方法もある。</li> <li>・各施策を支え、土台となるものを市民と共有できると良いと思う。</li> <li>・各単位施策はイラストを工夫し、次に読み進みたくくなるような工夫をお願いしたい。</li> <li>・ゴミの減量を指標とするのなら、市民として何を努めるべきか具体的な行動を示さない\に向かわないと思う。</li> <li>・まちづくりの方向性(イメージ)について、樹木を大きくさせるなら「肥料」も必要であり、「肥料」は「市民の協力」や「全員参加型」が該当してくると思う。</li> </ul>

- ・指標については3つくらいを簡潔に表記するのが良いと思う。
- ・指標について、\や^だけでなくイラストを採用するのはどうか。
- ・『第1節②男女共同参画』について、女性や外国人が参画しやすい制度作りが必要と思う。また、市民の役割に『市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力します』というのは誤解を生じかねないと思う。
- ・できあがった施策に参加するのではなく、「策定段階から参画する」ことが『全員参加型』と言えるのではないか。
- ・桑名市は、沿岸部の海拔0m地帯から山側まで地理的に大きな違いがあるため「互助」「共助」の考え方で、津波発生時などに具体的にどうするべきかを考えることを表記したらどうかと思う。
- ・「地域」という言葉の定義の使いわけをした方が良い。市全体を「地域」と呼ぶこともあるし、拠点としてのコミュニティを「地域」と呼ぶこともある。
- ・いわゆる弱者(声を出せない人達)のケアについて明記してほしい。
- ・総合計画を読むことで行政の実施しているシステムやサービスを皆が知っているようになると便利である。
- ・現状と課題の分析について、一般論が述べられているように感じる。
- ・課題として挙げられているものを、指標として掲げるのが理想である。
- ・個別の施策は具体的な実施計画に期待するが、曖昧な総合計画ではクリアな(具体的な)実施計画は作成できないと思う。
- ・現在、子ども・子育て会議も並行して開催されているので、そちらとも連携して策定していただきたい。
- ・最近の言葉として、『子どもの社会化』というのがよく用いられるので、この言葉を盛り込んでみてはどうか。
- ・『子どもを3人育てられるまち』は家族が笑顔になれるような行政による財政的援助や制度・システムの提供が望まれる。
- ・『子どもを3人育てられるまち』の絵は、明るいイメージで、家族のイラストで表現すると良い。
- ・『第4節①国際理解教育』は全体を通して、一般的なことが書かれているが、国際交流は基本的な活動の積み重ねともいえるので悪いことではないと思う。
- ・『第4節世界に向けて開かれたまち』の3つ単位施策は、“子どもが世界に向けてグローバルな考え方をもって育つまち”というような表現があっても良いと思う。
- ・『第5節③公共交通』の市民の役割で「公共交通を積極的に利用します」とあるが、普段、公共交通を使わない人の関心をいかに向けるかという施策が必要であると考えます。
- ・桑名市が持つ地理的優位性とは何かをもっと具体的に示すと良いと思う。
- ・『第6節①文化・スポーツ』について、10年後の目指す姿をもう少し具体的かつ大胆にしても良いと思う。
- ・10年後の目指す姿は、文章を短く、簡潔にして絵を添えるなど、施策に応じてはっきりと示した方がよいと思う。
- ・『③農林業』『④水産業』『⑤商業』『⑥工業』などは、一般的なことが書かれており、どんな市にしていきたいのかイメージが湧きにくい。
- ・『⑥工業』の市の役割について地元企業の活性化に関することの記載をしていただきたい。
- ・ブランド化には”ひとづくり”が重要なポイントであると考えため、人材育成についての記述が欲しい。
- ・市がすることと、国や県がすることの区別を明確にしたほうがよいと思う。
- ・日本の中の桑名市の立ち位置、三重県の中の桑名市の立ち位置を明確にしていくと、桑名市というオリジナルな市のイメージができる。また、近隣自治体と共有することも必要であるためどこかへ盛り込めると良いと思う。

担 当 課

市長公室 政策経営課